

証券コード：7681



株式会社 レオクラン

2022年9月期第3四半期 決算補足説明資料

2022年8月12日



決算サマリー

<2022年9月期3Q>

増収増益

上期集中は前期と同じながら、メディカルトータルソリューション事業でストック的ビジネスの積上げが奏功し、増益確保

<2022年9月期通期見通し>

据置き

従来想定据置き、前期比増収増益を予想。売上は既に90%の進捗率、利益は既に通期想定をクリア済

 目次

1	2022年9月期第3四半期決算実績	3
2	2022年9月期決算見通し	11

**1****2022年9月期第3四半期決算実績**



2022年9月期第3四半期 経営成績①

- 3Q累計は対前年で増収増益。通期見通しに対しては売上で90%の進捗率、利益は既に通期想定をクリア
- 業績堅調の主因はメディカルトータルソリューション事業の好調。新增改築案件の増加を背景に18%超の増収増益。2Qまでは戦略案件取得で利益率は若干低下があったものの、3Q累計では利益率も回復
- 遠隔画像診断サービス事業は堅調ながら採算は低下。給食事業は大口顧客解約の影響が継続

経営成績の推移

(百万円)	2021/9期 3Q累計実績	2022/9期3Q累計		2022/9期通期	
		実績	前年同期比 増減率	予想	進捗率
売上高	21,472	25,195	+17.3%	27,759	90.7%
メディカルトータルソリューション	20,637	24,394	+18.2%	26,694	91.3%
遠隔画像診断サービス	482	503	+4.2%	645	78.0%
給食	351	297	▲15.4%	420	70.8%
営業利益	785	886	+12.7%	750	118.1%
メディカルトータルソリューション	691	822	+18.8%	666	123.4%
遠隔画像診断サービス	62	56	▲8.5%	74	76.6%
給食	29	5	▲82.4%	10	52.2%
調整	2	2	▲4.6%	-	-
経常利益	800	940	+17.5%	800	117.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	540	625	+15.9%	520	120.3%
1株当たり当期純利益 (円)	276.31	319.27	▲22.7円	265.32	-



2022年9月期第3四半期 経営成績②

- 3Q単独では、対前年で増収増益。前年の3Qは営業赤字となったものの、今期は黒字を確保
- 「狩猟型収益構造」の特性上、四半期推移では一定のボラティリティが不可避ながら、ストック型の色彩を持つ狩猟型ビジネスも着実に成長。対前年ではこれらが収益を下支え
- 対2Qでは大型案件の減少から減収減益。当期も大型案件は上期集中であり、下期はその反動が影響

経営成績の推移

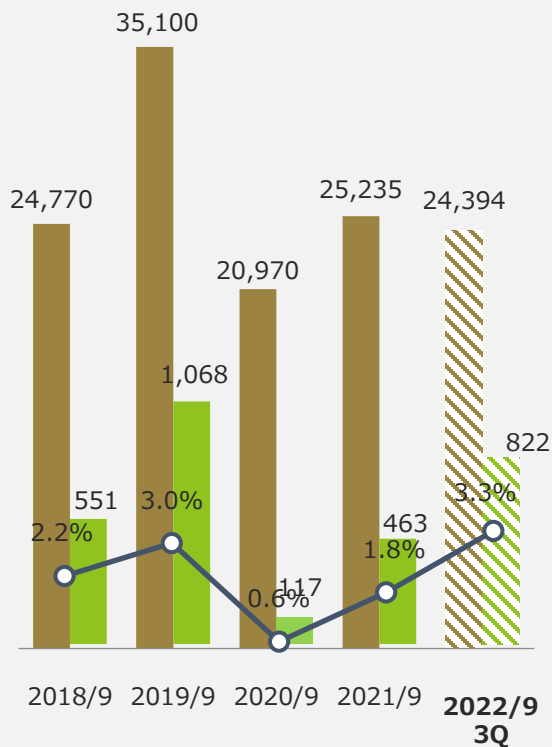
(百万円)	2020/9期		2021/9期				2022/9期			前年比 差異
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
売上高	3,384	6,272	7,971	8,907	4,593	4,875	10,678	8,078	6,438	+1,845
メディカルトータルソリューション	3,140	5,999	7,691	8,624	4,321	4,598	10,404	7,821	6,169	+1,847
遠隔画像診断サービス	124	157	162	164	155	164	172	159	171	+16
給食	119	115	117	118	116	112	100	98	98	▲18
営業利益	▲63	181	405	445	▲64	▲209	529	241	114	+179
メディカルトータルソリューション	▲80	159	370	410	▲89	▲228	499	226	97	+186
遠隔画像診断サービス	5	13	23	21	16	10	26	14	15	▲0
給食	11	7	9	12	7	6	2	1	1	▲6
調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲0

※ 上記の四半期会計期間の数値については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく有限責任監査法人トーマツの四半期レビューは受けておりません。

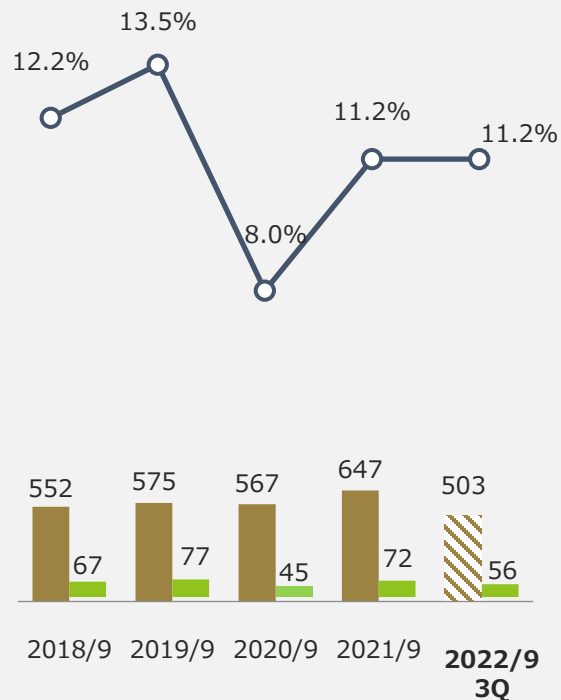
セグメント別業績推移

- **メディカルトータルソリューション事業**は、3Q累計時点ではほぼ前年実績に相当する業績を計上。営業利益率も大きく改善し、現時点で直近5期では最も高い水準を確保
- **遠隔画像診断サービス事業**は高利益率を継続。業績は安定しているものの、成長ピッチ加速が今後の課題
- **給食事業**は大口顧客減による影響大きく伸び悩み。営業利益率は直近5期で最も厳しい状況に

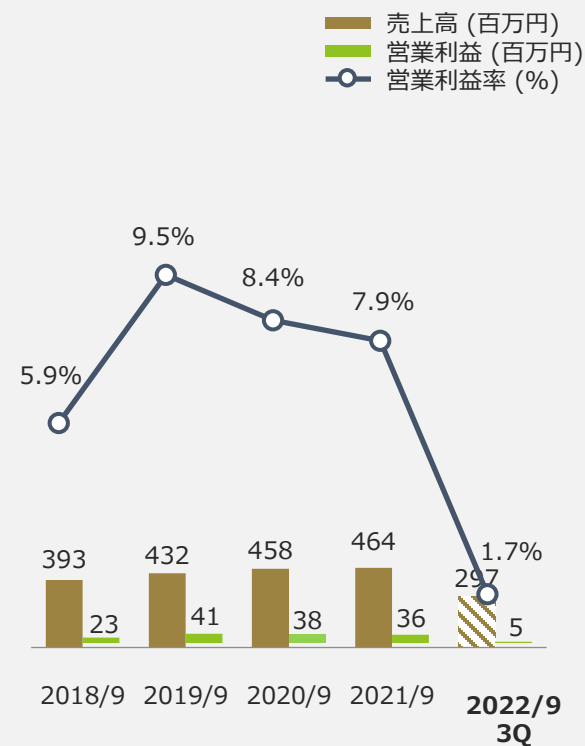
メディカルトータルソリューション事業



遠隔画像診断サービス事業



給食事業



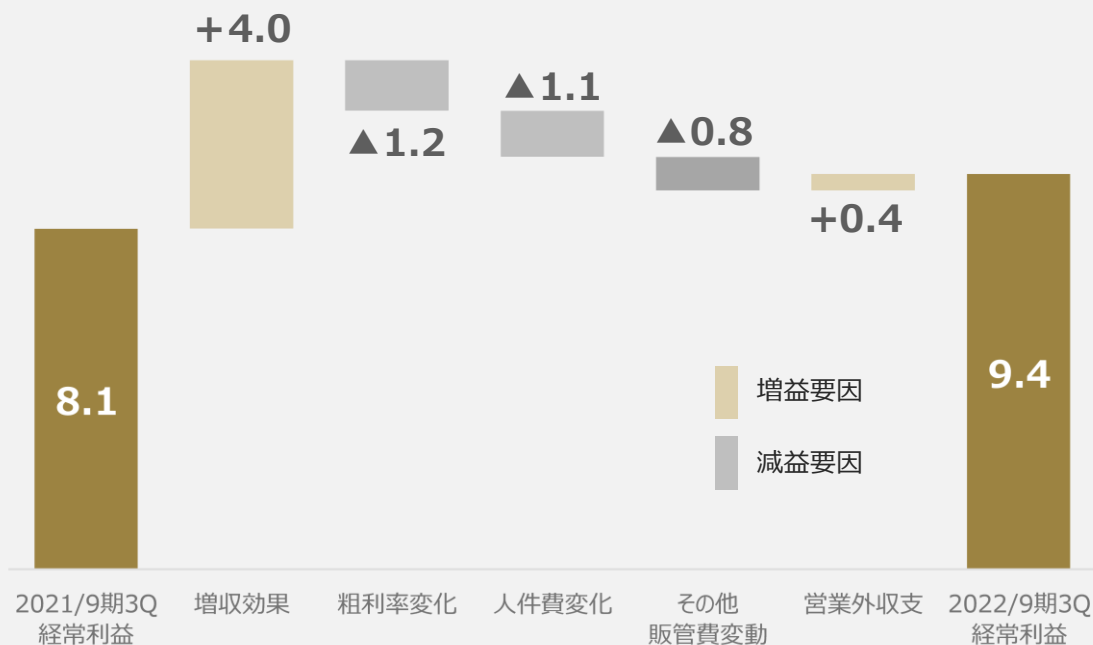


2022年9月期第3四半期 営業利益増減要因分析

- 経常増益の主因は売上の好調。特に前期は3Qに案件減少から失速となったが、当期はストック的なビジネスの積上げが奏功。増収効果により、粗利益率の低下や販管費増を吸収
- 粗利益率の低下は、ストック的ビジネス増による売上構成変化や一部低採算案件が影響したもの。主流たる「狩猟型」プロジェクト案件の採算傾向に変化はなし

営業利益増減益分析

(億円)



- 売上高の増加 +2.1億円
 - ・メディカルトータルソリューション事業の一括販売案件が上期に集中
 - ・ストック的ビジネスの積上げ伸長
- 粗利率変化 ▲1.7億円
 - ・戦略的意図による一部低採算案件が影響
 - ・ストック的ビジネス増による構成変化
- その他販管費変動 ▲0.8億円
 - ・地代家賃増 ▲0.2億円
 - ・交際費/交通費 ▲0.2億円



2022年9月期第3四半期 財政状態

- 前期末比では大型案件売上により、売上債権と仕入債務が両建てで増加。
- 売上債権回収から現預金も増加。ネットキャッシュ62億円は過去最高水準。実質無借金経営を継続
- 自己資本比率は39.3%

財政状態の推移

(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期3Q	前期末比差異
流動資産	12,198	11,755	13,377	+1,622
現預金	4,450	5,408	6,354	+945
受取手形・売掛金/契約資産	6,652	4,820	5,667	+847
棚卸資産	60	188	24	▲161
その他	1,034	1,337	1,330	▲9
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0	▲0
固定資産	1,215	1,209	1,217	+7
総資産	13,414	12,964	14,594	+1,629
負債	8,596	7,805	8,871	+1,066
買掛金	6,282	4,890	5,869	+979
有利子負債	338	127	101	▲25
その他	1,975	2,788	2,900	+112
純資産	4,817	5,159	5,723	+563
負債純資産合計	13,414	12,964	14,594	+1,629

**2****2022年9月期決算見通し**



2022年9月期通期業績予想①

- 従来想定を据置き、前期比増収増益を予想
- 主力のメディカルトータルソリューション事業では新增改築案件の拡大に加え、大型機器・設備案件も伸張と想定。狩猟型ながらストック的な案件にも引続き注力。収益基盤の強化を追求
- 半期別に見ると、下期は対上期比で減収減益となる見通し。これは売上計上が今期も上期に集中しているため。下期は次期以降のプロジェクト案件獲得に向けての仕込みに注力

経営成績の推移

(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期 見通し	前期比較	
				差異	増減率
売上高	21,996	26,347	27,759	+1,412	+5.4%
メディカルトータルソリューション	20,970	25,235	26,694	+1,458	+5.8%
遠隔画像診断サービス	567	647	645	▲2	▲0.3%
給食	458	464	420	▲44	▲9.5%
営業利益	204	576	750	+174	+30.3%
メディカルトータルソリューション	117	463	666	+202	+43.6%
遠隔画像診断サービス	45	72	74	+1	+1.9%
給食	38	36	10	▲26	▲71.5%
調整	3	3	-	-	-
経常利益	207	595	800	+205	+34.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	120	390	520	+129	+33.0%
1株当たり当期純利益 (円)	62.51	199.92	265.32	+65.4	+32.7%

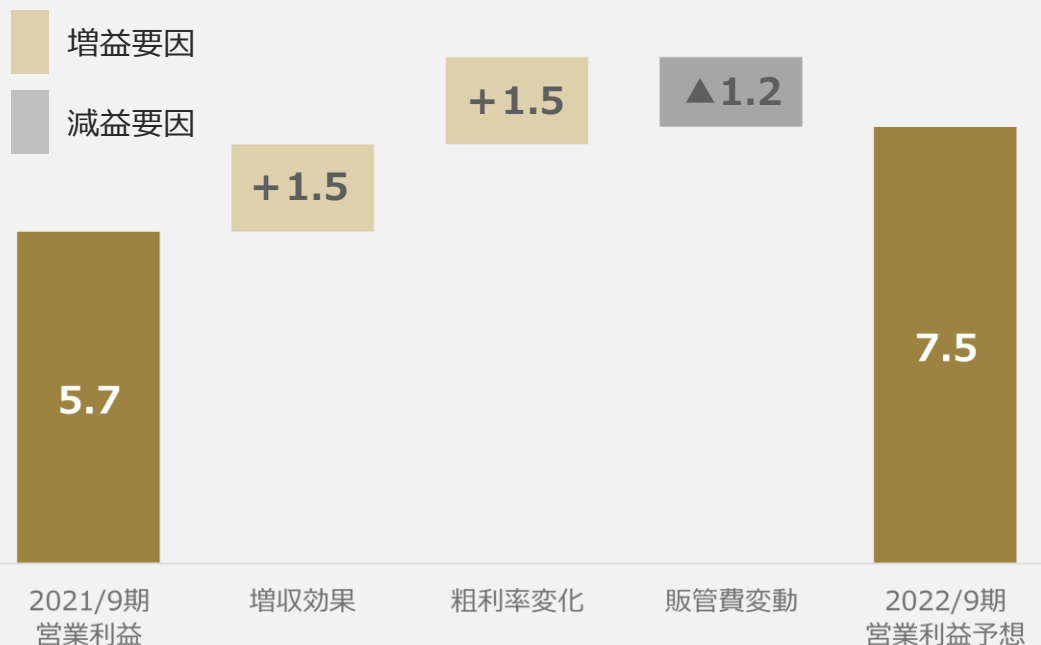


2022年9月期 営業利益増減要因分析

- 通期では大型案件増による増収効果や深耕営業による粗利率改善が増益を牽引する見通し。営業力強化のための人件費や営業経費の上昇はあるも、増収効果などで吸収と想定
- ただし、下期のみに注目すると、大型案件一巡の影響から、対上期比では減収減益となる見通し

営業利益 想定増減益分析

(億円)



- 売上高の増加 +1.5億円
 - ・医療機器の一括販売案件に加え、一括販売に準じる大型案件の伸張を想定
 - ・スポット的な期中新規案件受注も堅調に推移する見通し
- 粗利率変化 +1.5億円
 - ・深耕営業推進により総じて採算は改善
 - ・上期発生 of 低採算案件の影響もその他案件の利益率改善でカバー
- 販管費変動 ▲1.2億円
 - ・営業力強化のための継続的新卒採用
 - ・専門職を中心とした中途採用増
 - ・訪問営業再開による営業経費の上昇等



2022年9月期通期業績予想②

- メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売は12案件を計画。このうち、ほとんどは既に売上計上済。特に20億円以上の大型案件増が収益に大きく貢献
- 従来見通し比では一部案件で規模が若干拡大。ただし、業績見通しへの影響は軽微

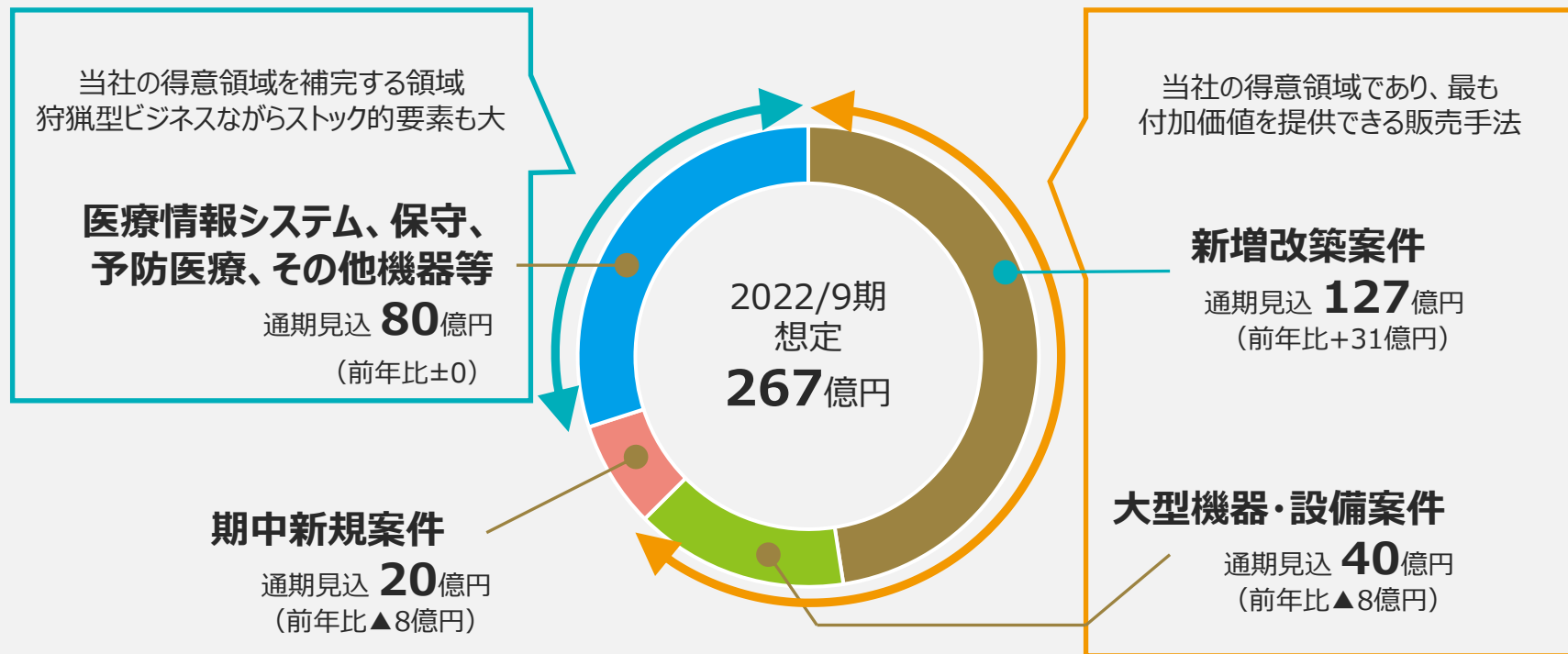
メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2020/9期	2021/9期	2022/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	2,562	4,739	9,925	5,186
	件数	1	2	3	1
	平均単価	2,562	2,369	3,308	939
10億円以上	売上高	2,954	1,476	3,894	2,418
	件数	2	1	3	2
	平均単価	1,477	1,476	1,298	▲178
10億円未満	売上高	2,928	3,395	1,785	▲1,610
	件数	10	11	6	▲5
	平均単価	293	309	297	▲12
合計	売上高	8,445	9,611	15,603	5,992
	件数	13	14	12	▲2
	平均単価	650	686	1,300	614
事業売上に占める一括販売比率		40.3%	38.1%	58.5%	20.4pt

メディカルトータルソリューション事業売上想定

- 2022/9期のメディカルトータルソリューション事業において、当社得意領域である**新增改築案件**、**大型機器・設備案件**は事業売上全体の過半を占める見通し。上期時点からは大型案件一巡で比率低下へ
- これに対し、得意領域を補完するストック的色彩の濃い**医療情報システム・保守・予防医療他**といった案件の売上は順調に積上げ。事業売上全体の約3分の1を稼ぎ出すビジネスにまで成長すると予想

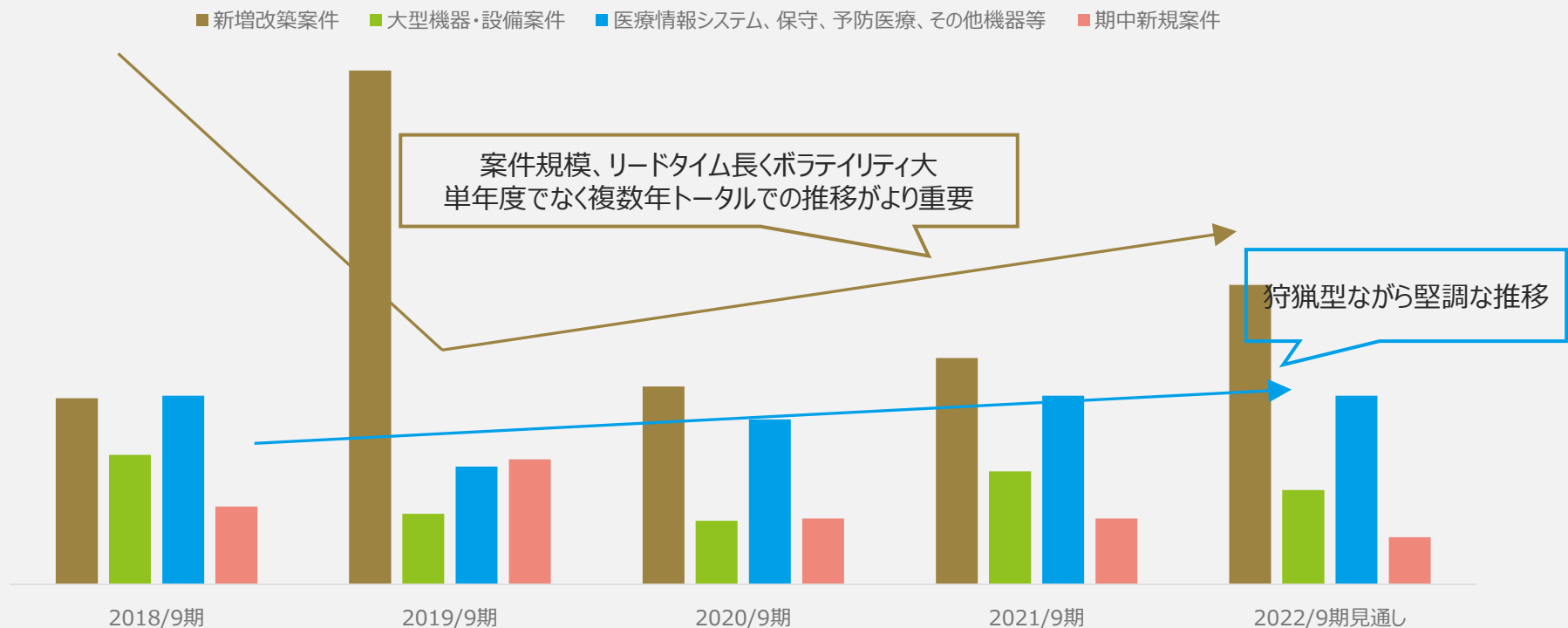
メディカルトータルソリューション事業売上の案件別売上内訳



メディカルトータルソリューション事業売上推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上構成は徐々に変化。ただし、主力の新增改築案件はボラティリティが大きく、単年度でなく複数年で捉えるべきものとの位置づけに変化はなし。
- 一方、新增改築案件などを補完する情報システムや予防医療などのビジネスは着実に拡大。狩猟型ビジネスモデルは当社の特色ながら、ストック的色合いも増す

メディカルトータルソリューション事業売上の案件別売上推移

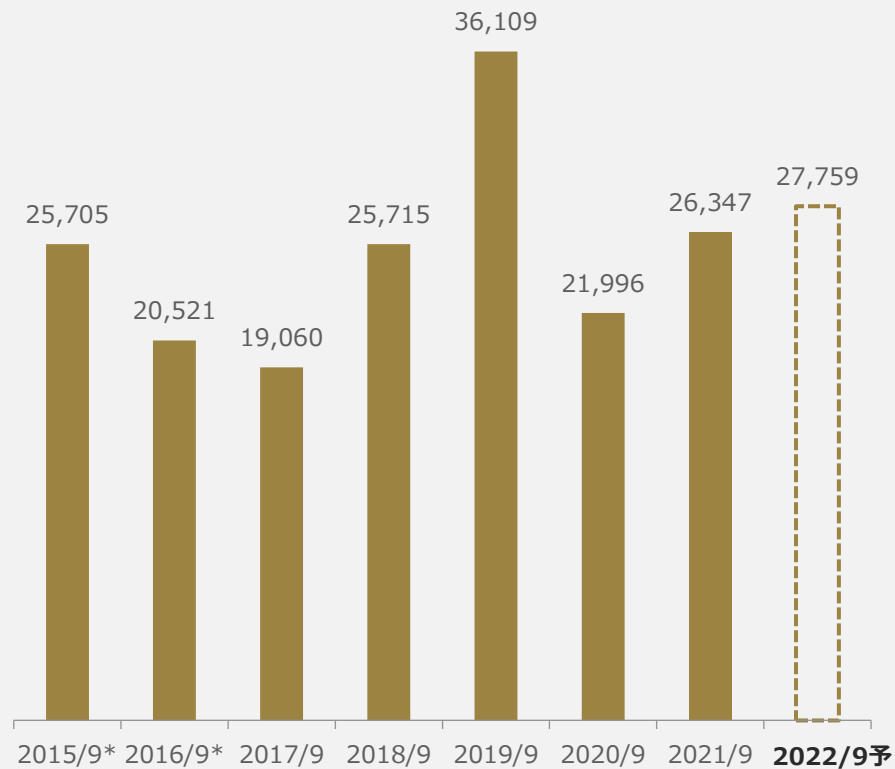


長期業績推移

- 狩猟型なため、業績面でのボラティリティ発生は不可避。特に、2019/9期は大型案件の売上が集中した結果、2020/9期はその反動が発生。2021/9期からは緩やかな回復基調に反転
- 2022/9期も前年比増収増益を想定。経常利益率は直近のピークに接近の見通し

売上推移

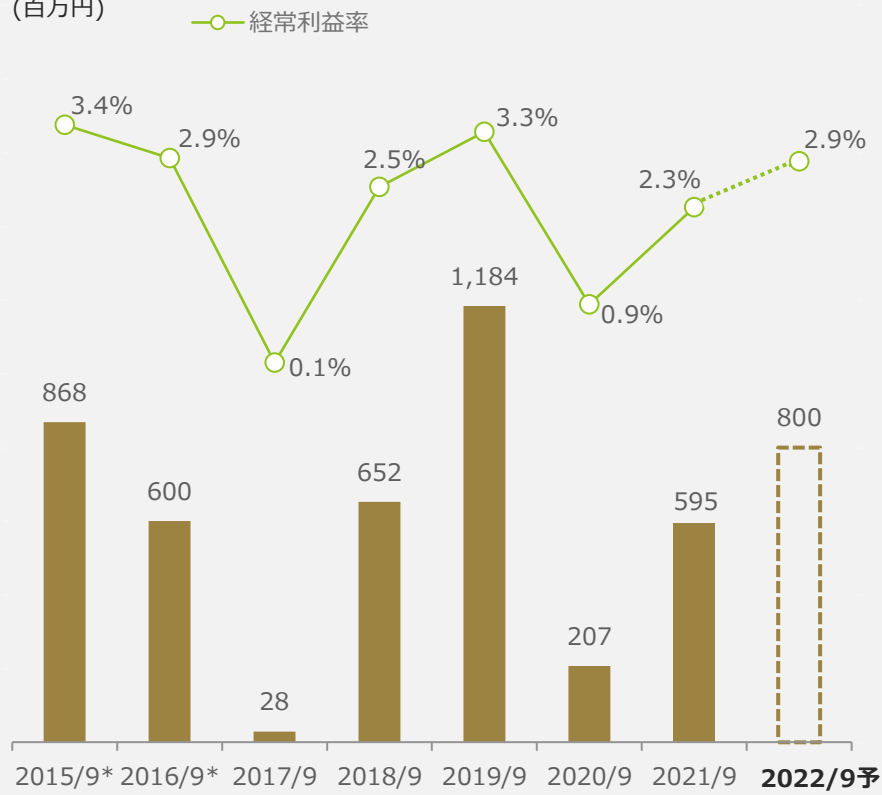
(百万円)



* 単独決算

経常利益推移

(百万円)





業績・財務ハイライト

決算年月		2017年9月	2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期 3Q
売上高	(千円)	19,060,958	25,715,941	36,109,029	21,996,890	26,347,156	25,195,466
経常利益	(千円)	28,463	652,381	1,184,035	207,244	595,939	940,767
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	242,509	357,645	732,959	120,839	390,983	625,991
包括利益	(千円)	290,524	396,399	735,628	141,111	427,266	648,230
資本金	(千円)	123,000	331,507	331,507	536,169	539,369	539,369
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	4,920	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800
純資産額	(千円)	2,905,240	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,723,493
総資産額	(千円)	12,047,141	12,875,910	12,814,634	13,414,303	12,964,840	14,594,726
1株当たり純資産額**	(円)	2,870.05	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,841.91
1株当たり配当額	(円)	4,000	40.0	40.0	45.0	40.0	—
1株当たり当期純利益**	(円)	246.95	323.64	411.31	62.51	199.92	319.27
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	—	—	—	61.85	198.33	317.76
自己資本比率	(%)	23.4	27.9	33.0	35.1	38.8	38.2
自己資本利益率	(%)	9.0	11.2	18.7	2.7	8.0	15.3*
配当性向**	(%)	8.1	12.4	9.7	72.0	20.0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲718,460	962,625	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	107,722	▲52,847	▲91,784	▲63,598	▲42,129	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲7,334	203,275	▲213,022	238,372	▲298,007	—
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	2,589,499	3,702,552	6,162,281	4,430,782	5,388,721	6,354,666
従業員数	(人)	147	153	155	157	162	176
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(37)	(38)	(39)	(54)	(58)	(58)

*通期換算ベース

**2018年9月13日付株式分割(1:200)後の発行済み株式数基準



ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン
IRサポート担当
TEL : 06-6387-1554
Email : ir-support@leoclan.co.jp